

ちっちゃ〜い バーコードデーターレクタ 豆っぴ 520



パラメータ設定ガイド

対応型式

Mame.Pi-520MV

Mame.Pi-521MV

Mame.Pi-520WV

Mame.Pi-521WV



ウェルコムデザイン株式会社 URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

本社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
サポートデリバリーセンター (SDC) 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本社 & SDC]
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル
TEL. 03-3836-9411 (代) FAX. 03-3836-9412

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名称は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付いたことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「TELEC 電波法」

■ 電波に関する注意 ■

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。

Certificate Number: 204WW81000100



204WW81000100

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

「レーザー光に関する注意」



IEC 60825 Class I

パソコン用レーザー光には、IEC 60825 クラス1準拠(最大出力1mW以下)のレーザーを使用しています。レーザー照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。

安全上の注意

- ☆ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ☆ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属の AC アダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ AC プラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ AC プラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず 0~40℃ の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い 0~40℃ の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

1. はじめに	10
1.1. パッケージの確認	10
2. 豆っぴの基礎知識	11
2.1. 各部名称と機能	11
2.2. LED/ビームインディケータ	11
2.3. ホールド操作	12
バーコードを読み取る	12
自動充電のON/OFF	12
メモリーデータを1件削除	12
全メモリーデータを削除	12
メモリーデータの送信	12
Bluetoothデバイスとのペアリング 試行	12
2.4. 基本操作	13
動作モードの切り替え	13
メモリーデータ送信	13
メモリーデータ削除	13
2.5. Bluetoothデバイスと接続する	14
iOSデバイス(iPhone, iPad など)とHID接続する	14
AndroidデバイスとHID接続する	15
PC(Bluetooth Dongle)とHID接続する	16
PC(Bluetooth Dongle)とSPPスレーブ接続する	17
PC(Bluetooth Dongle)とSPPマスタ接続する	18
Mame.Pi-DNGL(A303 Dongle)と接続する	17
3. システムコマンド	20
4. クイックスタート	21
4.1. 動作モード	21
4.2. ケーブルインターフェイス	21
4.3. 動作モードの切り替え	22
4.4. 全メモリーデータ送信	22
4.5. メモリーデータ消去	22
4.6. メモリーデータ自動消去	23
4.7. ファームウェアアップデートモード	23
4.8. Bluetoothペアリング制限	23
4.9. Bluetooth接続タイマー	24
5. 一般動作に関するパラメータ	25
5.1. 日付フォーマット	25
5.2. 時刻フォーマット	25
5.3. チャージレート	25
5.4. ケーブルモード切り替え	26
5.5. 警告ブザー	26
5.6. 警告ブザー音量	26
5.7. 警告バイブレータ	27
5.8. 設定モードバイブレータ	27
5.9. メモリーデータハック送信	27
ハック: シリアル番号送信	27
ハック: 日時送信	28
ハック: レコード数	28
5.10. メモリーデータフラッシュ送信	28
フラッシュ: シリアル番号送信	28
フラッシュ: 日時送信	29
フラッシュ: レコード数	29
5.11. リアルタイムクロック設定	30
5.12. LEDビーム照度	30
5.13. 日付セレクト	31
5.14. 時刻セレクト	32
5.15. 設定モードタイムアウト	33

5.16. アドオンコードタイマー	33
5.17. 読取データ照合	34
5.18. 同一コード 二度読み防止タイマー	35
5.19. メモリーモード ハット	36
5.20. メモリーモード フット	37
6. ケーブルモード オプション	38
6.1. USB-COM インターフェイス	38
6.1.1. データビット	38
6.1.2. ストップビット	38
6.1.3. パリティ	38
6.1.4. ボーレート	39
6.1.5. ACK/NAK フロート	39
6.1.6. STX/ETX パケット	39
6.1.7. キャラクタ間送信データレイ	40
6.1.8. レコード間送信データレイ	40
6.1.9. 再送信回数	41
6.1.10. ACK タイムアウト	41
6.2. USB-HID インターフェイス	42
6.2.1. CAPS ロック/ATL シーケンス	42
6.2.2. 数字キー送信	42
6.2.3. CAPS ロックエミュレーション	42
6.2.4. キーボード言語	43
6.2.5. キャラクタ間送信データレイ	43
6.2.6. レコード間送信データレイ	44
6.3. リダオプション	45
6.3.1. 読取モード	45
6.3.2. 同一コード 読取防止	45
6.3.3. 読取データ照合	46
6.3.4. LED ビーム照射時間	47
6.3.5. アイドルタイマー	47
6.3.6. 電源オフタイマー	48
6.4. インディケータ	49
6.4.1. グッドリートプザー	49
6.4.2. 警告プザー	50
6.4.3. イハントプザー	50
6.4.4. グッドリートハーフレータ	51
6.4.5. 警告ハーフレータ	52
6.4.6. イハントハーフレータ	52
6.5. データフォーマットオプション	53
6.5.1. フリアップル	53
6.5.2. ホストアップル	54
6.5.3. プリフィックス	55
6.5.4. サフィックス	56
6.5.5. コード ID	57
6.5.6. コード桁数	57
6.5.7. コードネーム	58
6.5.8. 制御コード ファンクションキー変換	58
6.5.9. タイムスタンプ	58
6.5.10. 英字大文字/小文字変換	60
7. メモリーモード オプション	61
7.1. インターフェイス	61
7.2. リダオプション	61
7.2.1. 読取モード	61
7.2.2. 同一コード 読取防止	62
7.2.3. 読取データ照合	62
7.2.4. LED ビーム照射時間	63
7.2.5. アイドルタイマー	63

7.2.6. 電源オフタイマー	64
7.3. インディケータ	65
7.3.1. グットリトリーブザー	65
7.3.2. 警告ブザー	66
7.3.3. イハントブザー	66
7.3.4. グットリトリーブアラーム	67
7.3.5. 警告アラーム	68
7.3.6. イハントアラーム	68
7.4. データ送信オプション	69
7.4.1. データ送信方法	69
7.4.2. データ自動削除	69
7.5. ハッド/フックオプション	70
7.5.1. ハッド送信	70
ハッド: シリアル番号送信	70
ハッド: 日時送信	70
ハッド: コード数	71
7.5.2. フック送信	71
フック: シリアル番号送信	71
フック: 日時送信	71
フック: コード数	72
7.6. データフォーマットオプション	73
7.6.1. フリップソール	73
7.6.2. ホストソール	74
7.6.3. フリックス	75
7.6.4. サフィックス	76
7.6.5. コード ID	77
7.6.6. コード桁数	77
7.6.7. コードネーム	78
7.6.8. 制御コードファンクション変換	78
7.6.9. タイムスタンプ	78
7.6.10. 英字大文字/小文字変換	80
8. Bluetooth オプション	81
8.1. 接続プロファイル	81
8.2. アプリケーションタイムアウト	82
8.3. PIN コード	82
8.4. BD アドレス	83
8.5. デバイスネーム	84
8.6. A302/303 トランスミッター用 BD アドレス	85
8.7. A302/303 トランスミッター用 デバイスネーム	86
8.8. SPP オプション	87
8.8.1. ACK/NAK プロトコル	87
8.8.2. STX/ETX パケット	87
8.8.3. キャラクタ間送信遅延	88
8.8.4. コード間送信遅延	89
8.8.5. 送信タイムアウト	89
8.8.6. 再送信回数	90
8.8.7. ACK タイムアウト	90
8.9. HID オプション	91
8.9.1. CAPS ロック/ATL シーケンス	91
8.9.2. 数字キー送信	91
8.9.3. キーボード言語	91
8.9.4. キャラクタ間送信遅延	92
8.9.5. コード間送信遅延	92
8.9.6. 送信タイムアウト	93
8.10. リータ オプション	94
8.10.1. 読取モード	94
8.10.2. 同一コード読取防止	94
8.10.3. 読取データ照合	95

8.10.4.	LEDビーム照射時間	96
8.10.5.	アイドルタイマー	96
8.10.6.	電源オフタイマー	97
8.11.	インディケータ	98
8.11.1.	グッドリフトブザー	98
8.11.2.	警告ブザー	99
8.11.3.	ハットブザー	99
8.11.4.	グッドリフトハイルータ	100
8.11.5.	警告ハイルータ	101
8.11.6.	ハットハイルータ	101
8.12.	データフォーマットオプション	102
8.12.1.	プリアップル	102
8.12.2.	ホストアップル	103
8.12.3.	プリフィックス	104
8.12.4.	サフィックス	105
8.12.5.	コード ID	106
8.12.6.	コード桁数	106
8.12.7.	コードネーム	107
8.12.8.	制御コードファンクション変換	107
8.12.9.	タイムスタンプ	107
8.12.10.	英字大文字/小文字変換	109
9.	バーコードに関するパラメータ	110
9.1.	UPC-A	110
9.2.	UPC-E	114
9.3.	JAN/EAN-13	118
9.4.	JAN/EAN-8	122
9.5.	コード 39	126
9.6.	インターリーブド 25	130
9.7.	インダストリアル 25	134
9.8.	マトリクス 25	138
9.9.	コードバー(NW7)	142
9.10.	コード 128	146
9.11.	コード 93	151
9.12.	GS1 Databar Ominidirectional(RSS-14)	155
9.13.	GS1 Databar Limited(RSS Limited)	159
9.14.	GS1 Databar Stacked(RSS-14 Stacked)	163
9.15.	GS1 Databar Expanded(RSS Expanded)	167
9.16.	GS1 Databar Expanded Stacked(RSS Expanded Stacked)	171
補足 A	キーボードコード表 & ASCII コード表	175
補足 B	サンプルバーコード	176
補足 C	設定ユーティリティ	177
修理依頼書		178

Blank page

1. はじめに

この度は、弊社バーコードデコーダ 豆っぴ 520 シリーズ (以下、豆っぴ)をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、豆っぴの操作方法やパラメータ設定方法を記載した説明書です。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドに書かれていますので、補足ガイドとしてご利用ください。

本書に掲載しているマストバーコードを読み取ることで、豆っぴのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。
設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

1.1. パッケージの確認

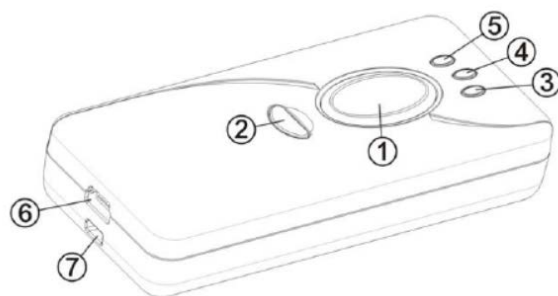
パッケージには、下記の物が含まれています。

- | | |
|------------|-----|
| ● 豆っぴ本体 | 1 台 |
| ● USB ケーブル | 1 本 |
| ● ネックストラップ | 1 本 |
| ● 簡易説明書 | 1 冊 |

万一不足や破損がある場合は、弊社又は販売店までご連絡をお願いします。

2. 豆っぴの基礎知識

2.1. 各部名称と機能



番号	名称	機能
①	スキャンボタン	スキャンボタンを押すと、ビームを照射し、バーコードの読み取りを行います。
②	ファンクションボタン	ファンクションボタンには、幾つかの機能に割り当てられています。例えば、メモモードで、先にメモしたデータを消去したり、Bluetoothモードでは、デバイスとのペアリングに使用します。
③	パワー LED	<u>バッテリー残量(ケーブル接続無し)</u> バッテリー残量が低下すると、赤色 LED が点滅します。高速赤点滅 2 回で残量「中量」を表し、低速赤点滅 1 回で残量「少量」を表します。 <u>充電ステータス(ケーブル接続有り)</u> 充電中は、赤色 LED が点灯し、充電が完了すると、赤色 LED が点滅に変わります。
④	ゲットリッド LED	バーコードの読み取りに成功すると、緑色 LED が点灯します。
⑤	モード LED	現在のオペレーションモードを表示します。 青色 LED : Bluetoothモード 緑色 LED : ケーブルモード 橙色 LED : メモモード
⑥	ストラップホール	付属のストラップを取り付けます。
⑦	miniUSB コネクタ	付属の USB ケーブルで PC と通信したり、バッテリーの充電を行います。

2.2. LED 及びビープインディケータ

下記に各ステータスにおける LED 及びビープインディケータの動作を示します。

ステータス	ビープ	LED
バーコードスキャン	高音ビープ (設定変更可能)	緑色 LED 1 回点灯
設定バーコードバーコードスキャン	高音→低音ビープ	-
特別設定バーコードスキャン	高音→低音→高音→低音ビープ	-
設定開始バーコードスキャン	8 回の連続ビープ (低音→高音)	-
ファームウェアアップデートモード	高音ビープの後、5 回のショートビープ 少し間をおいて、2 回の注意ビープ	赤色→緑色→青色 LED を順次継続点灯
設定終了バーコードスキャン	8 回の連続ビープ (高音→低音)	-
データ送信モードへ切り替え	高音ビープの後、2 回の低音ショートビープ	-
全データ送信完了	1 回のロングビープの後、データ送信開始 データ送信終了後、2 回のショートビープ	-
充電ステータス	-	充電中 : 赤色 LED 点灯 充電完了 : 赤色 LED 低速点滅
設定モードタイムアウト	6 音構成のメロディビープ	-
ケーブルモードへ切り替え	5 音構成のメロディビープ	緑色 LED 点滅
メモモードへ切り替え	4 音構成のメロディビープ	橙色 LED 点滅
全メモデータ消去	3 回のハ化ツツビープ	-
1 レコード消去	ロングビープ→2 回のショートビープ	-
Bluetooth モードへ切り替え	3 回の低音ショートビープ→高音ロングビープ	青色 LED 点滅
Bluetooth ペアリング成功	3 回の低音ショートビープ	青色 LED 点灯
Bluetooth 切断	3 音構成のビープ	-
Bluetooth ペアリング失敗	3 回のハ化ツツビープ	-

2.3. ホ 外操作

豆っぴは、トリガ とファクシヨホ の 2 つのホ 外を装備しています。各ホ 外及びリセ ンションでのホ 外操作方法を示します。

パ ーコード を読み取る

トリガ ホ 外を押すと、LED ビームを照射して、パ ーコード の読み取りを行います。

自動充電のやり方

デフォルトでは、USB ケーブル接続で、自動的に充電が行われますが、下記の手順でこれを切にすることができます。トグルになっているため、同操作で、切に復帰させることも可能です。

1. ケーブルモード に移行します。
2. モード LED が緑色に高速点滅するまで、ファクシヨホ 外を押し続けます。ピピピッ とビープ が鳴ります。
3. 緑色に高速点滅すれば、ファクシヨホ 外を押したまま、トリガ ホ 外を押します。
4. 切になった場合は、ピホッ、切になった場合は、プピッ というビープ 音が鳴ります。

自動充電が切の場合、USB ケーブルを接続しても、赤色 LED は点灯しません。

メモリーデータを 1 件削除

下記の手順で指定のメモリーデータ 1 件を削除します。

1. メモリーモード に移行します。
2. ファクシヨホ 外を押して、LED ビームを照射し、削除したい目的のパ ーコード を読み取ります。
3. データが削除されれば、ピセピッ、指定のデータが無ければピピピピッ とビープ 音が鳴ります。
4. 削除できた場合は、グッドリド LED が緑色に点灯し、データが無ければ、橙色に点灯します。

全メモリーデータを削除

下記の手順で全メモリーデータを削除します。

1. メモリーモード に移行します。
2. モード LED が橙色に高速点滅するまで、ファクシヨホ 外を押し続けます。ピピピッ とビープ 音が鳴ります。
3. 橙色に高速点滅すれば、ファクシヨホ 外を押したまま、トリガ ホ 外を押します。
4. 全メモリーが削除されると、ピセピセ というビープ 音が鳴ります。この時、グッドリド LED が赤色に点灯します。

メモリーデータの送信

下記の手順でメモリーデータを送信します。

1. 豆っぴがホステバ 役と通信可能状態であることを確認します。(USB/Bluetooth)
2. モード LED が緑色高速点滅から緑色点灯に変わるまで、ファクシヨホ 外を押し続けます。この時、ピピピッ、ピセとビープ 音が鳴ります。
3. ファクシヨホキーを離すと、ピセピッ音が鳴り、ビープグッド LED が橙色に点灯します。橙色に点灯している間に、トリガ ホ 外を押すと、メモリーデータの送信が開始されます。

Bluetooth デバ 役とのペアリング 試行

下記の手順で Bluetooth デバ 役とのペアリング を試行します。

1. Bluetooth モード に移行します。)
2. モード LED が青色に高速点滅するまで、ファクシヨホ 外を押し続けます。ピピピッ とビープ 音が鳴ります。
3. 青色に高速点滅すれば、ファクシヨホ 外を押したまま、トリガ ホ 外を押します。ピピピッ・ピピピッ とビープ 音が鳴り、モード LED が青色に低速点滅し、豆っぴが Bluetooth 接続試行中、デバ 役検索待ち状態になります。

2.4. 基本操作

動作モードの切り替え

ケーブルモード、Bluetoothモード、メモリモードへの切り替えを行います。上から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *		
ケーブルモード  * Z T O S *	Bluetoothモード  * Z T O B *	メモリモード  * Z T O M *
設定終了  * Z P A R *		

メモリデータ送信

全メモリデータを送信します。データ送信が行える状態で、上から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *
メモリデータ送信  * Z M T X * 「メモリデータ送信」をスキャンし、トリガボタンを押すと、送信を開始します。

メモリデータ削除

全メモリデータを削除します。削除したデータを復元することはできません。上から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *
メモリデータ削除  * Z F C A *

2.5. Bluetooth デバイスと接続する

iOS デバイス(iPhone, iPad など)と HID 接続する

Step-1

iOS モード に設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	iOS  * C 4 1 D 4 *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-2

Bluetooth モード に移行します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	Bluetooth モード  * Z T O B *
---	---

Step-3

ペアリング を試行します。左から順にスキャンしてください。ピピピッ、ピピピッとピープ音 が鳴り、モード LED が低速点滅します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	ペアリング 試行  * Z P A R *
---	--

Step-4

iOS デバイス で Bluetooth をおににして、デバイス を検索します。
SmartBt (デフォルト名) が表示されればタップ し、ペアリング を行います。

Step-5

PIN コード が表示されれば、数値パスワード をスキャンして入力し
最後に「確定」をスキャンします。

Step-6

ピピッ とピープ音 が鳴り、モード LED が青色に点灯すれば接続完了です。



数値パスワード			
0  % 0 0	1  % 0 1	2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5	6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9		
確定  % O K			

Android デバイスと HID 接続する

Step-1

HID モードに設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	HID  * C 4 1 D 3 *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-2

Bluetooth モードに移行します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	Bluetooth モード  * Z T O B *
---	---

Step-3

ペアリングを試行します。左から順にスキャンしてください。ピピピッ、ピピピッとピー音がり、モード LED が低速点滅します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	ペアリング 試行  * Z P A R *
---	--

Step-4

Android デバイスで Bluetooth をおこなにして、デバイスを検索します。
SmartBt (デバイス名) が表示されればタップし、ペアリングを行います。

Step-5

PIN コードが表示されれば、数値パスワードをスキャンして入力し
最後に「確定」をスキャンします。

Step-6

ピピッとピー音が鳴り、モード LED が青色に点灯すれば接続完了です。

数値パスワード			
0  % 0 0	1  % 0 1	2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5	6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9		
確定  % O K			

PC(Bluetooth Dongle)と HID 接続する

Step-1

HID モードに設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	HID  * C 4 1 D 3 *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-2

日本語キーボードに設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	日本語  * A F 1 C 2 *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-3

Bluetooth モードに移行します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	Bluetooth モード  * Z T O B *
---	---

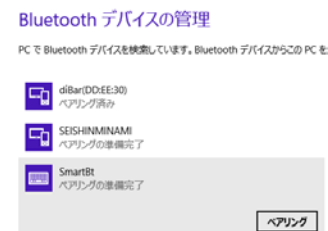
Step-4

ペアリングを試行します。左から順にスキャンしてください。ピピピッ、ピピピッとピープ音が鳴り、モード LED が低速点滅します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	ペアリング 試行  * Z P A R *
---	--

Step-5

PC で Bluetooth をおこなって、デバイスを検索します。
SmartBt(デフォルト名)が表示されればタップし、ペアリングを行います。



Step-6

PIN コードが表示されれば、数値バーコードをスキャンして入力し最後に「確定」をスキャンします。

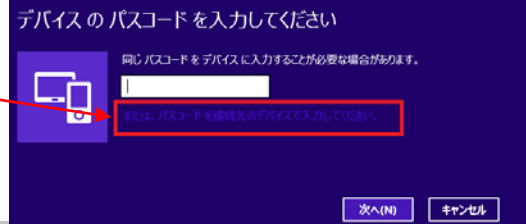
Step-7

ピピッとピープ音が鳴り、モード LED が青色に点灯すれば接続完了です。

数値バーコード			
0  % 0 0	1  % 0 1	2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5	6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9		
確定  % O K			

ヒント

PIN コードが表示されない場合は、この部分をクリックすることで表示を切り替えることができます。



PC(Bluetooth Dongle)と SPP スレーブ 接続する

Step-1

SPP スレーブ モード に設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始 * / \$ % E N T R *	SPP スレーブ * C 4 1 D 1 *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------

Step-2

Bluetooth モード に移行します。左から順にスキャンしてください。

設定開始 * / \$ % E N T R *	Bluetooth モード * Z T O B *
---------------------------------------	---

Step-3

ペアリングを試行します。左から順にスキャンしてください。ピピピッ、ピピピッとビーブ音が鳴り、モード LED が低速点滅します。

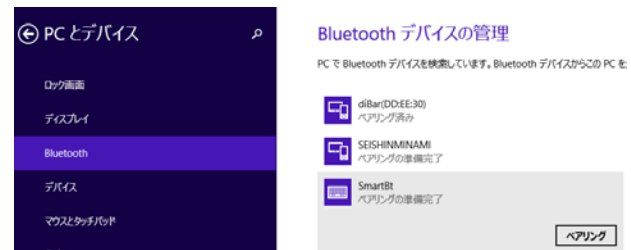
設定開始 * / \$ % E N T R *	ペアリング 試行 * Z P A R *
---------------------------------------	------------------------------------

Step-4

PC で Bluetooth をかきにして、デバイスを検索します。
SmartBt(デフォルト名)が表示されればタップし、ペアリングを行います。

Step-5

PIN コード 入力画面が表示されれば、キーボードで PIN コードを入力します。PIN コードのデフォルト値は、「1234」です。



Step-6

割り当てられた COM ポートをオープンします。ピピッとビーブ音が鳴り、モード LED が青色に点灯すれば接続完了です。

数値バーコード			
0 % 0 0	1 % 0 1	2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5	6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9		
確定 % O K			

PC(Bluetooth Dongle)と SPP マスタ接続する

Step-1

SPP マスタモードに設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	SPP マスタ  * C 4 1 D 2 *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-2

PIN コード (デフォルト 1234)を設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	PIN  * B 0 0 E 9 * スキャンした後、数値バーコードで PIN コードを入力し、最後に「確定」をスキャンします。	設定終了  * Z E N D *
---	--	--

BD アドレス (MAC アドレス)を設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	BD アドレス  * B 0 8 F E * スキャンした後、16 進数バーコードで BD アドレスを入力し、最後に「確定」をスキャンします。	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-4

Bluetooth モードに移行します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	Bluetooth モード  * Z T O B *
---	---

Step-5

ペアリングを試行します。左から順にスキャンしてください。ピピピッ、ピピピッとピープ音が鳴り、モード LED が低速点滅します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	ペアリング 試行  * Z P A R *
---	--

Step-6

ピピッとピープ音が鳴り、モード LED が青色に点灯すれば接続完了です。

16 進数バーコード / 数値バーコード			
0  % 0 0	1  % 0 1	2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5	6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9	A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D	E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K			

Mame.Pi-DNGL(A303トランス)と接続する

Step-1

A303 モードに設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	A303  * C 4 1 D 5 *	設定終了  * Z E N D *
---	--	--

Step-2

BD アドレス(MAC アドレス)を設定します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	BD アドレス  * B 2 8 F E * スキャンした後、16 進数バーコードで BD アドレスを入力し、最後に「確定」をスキャンします。	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

Step-3

Bluetooth モードに移行します。左から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	Bluetooth モード  * Z T O B *
---	---

Step-4

ペアリングを試行します。左から順にスキャンしてください。ピピピッ、ピピピッとピープ音が鳴り、モード LED が低速点滅します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	ペアリング 試行  * Z P A R *
---	--

Step-5

ピピッとピープ音が鳴り、モード LED が青色に点灯すれば接続完了です。

16 進数バーコード / 数値バーコード			
0  % 0 0	1  % 0 1	2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5	6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9	A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D	E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K			

3. システムコマンド

コマンドバーコード	説明
 * / \$ % E N T R *	<u>設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 * Z E N D *	<u>設定終了</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存し、設定モードを終了します。
 * Z E X T *	<u>設定キャンセル</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、パラメータ変更内容を保存せずに、設定モードを終了します。
 * Z A D E *	<u>全デフォルト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、インターフェイス設定を除く、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 * Z D E F *	<u>ポートデフォルト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、ポートに関する全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 * Z V E R *	<u>ファームウェアバージョン</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、ファームウェアバージョンを出力します。
 * Z C L K *	<u>リアルタイムクロック設定</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンした後、10桁の数値バーコードをスキャンし、最後に確定をスキャンします。例えば、2008/12/05 12:20 に設定したい場合は、 「2」「0」「0」「8」「1」「2」「0」「5」「1」「2」「2」「2」「確定」 の順にスキャンします。
 * Z I S P *	<u>ファームウェアアップグレードモード</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、USB-COM インターフェイスで初期化された後、ファームウェアアップグレードモードに移行します。
 * Z C H G *	<u>自動チャージ オン/オフ</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、自動チャージをオン/オフ(トリプル)します。
 * Z P A R *	<u>Bluetooth 接続</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンすると、Bluetooth 接続を試行します。

4. クイックスタート

4.1. 動作モード

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 0 C 0 *	キーボードモード	
 * A 4 0 C 1 *	メモリモード	
 * A 4 0 C 2 *	キーボード+メモリモード	
 * A 4 0 C 3 *	Bluetoothモード	
 * A 4 0 C 4 *	キーボード+Bluetoothモード	
 * A 4 0 C 5 *	メモリ+Bluetoothモード	
 * A 4 0 C 6 *	キーボード+メモリ+Bluetoothモード	■

4.2. キーボードインターフェイス

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 8 1 D 1 *	USB-HID	■
 * B 8 1 D 2 *	USB-COM	
 * A B 1 C 0 *	英語キーボード	■
 * A B 1 C 2 *	日本語キーボード	

4.3. 動作モードの切り替え

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * Z T O S *	キーボードモードへ切り替え	
 * Z T O B *	Bluetoothモードへ切り替え	
 * Z T O M *	メモリーモードへ切り替え	

- ✓ 「キーボード」は別冊パラメータ設定ガイドの「キーボード切り替え」が「無効」に設定変更されている場合のみ有効なコマンドです。
- ✓ 動作モード変更に成功した場合は、「設定終了」のスキップは不要です。
- ✓ 現在動作中の動作モードへ切り替えを行うと、1秒ビープ音が鳴ります。

4.4. 全メモリー送信

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * Z M T X *	全メモリー送信	

※ 動作

USBケーブルが接続されていることを確認し、下記の操作を行います。
ビープ音と共に緑色LEDが点滅を開始し、再度ビープ音が鳴り、緑色LEDが常時点灯になるまでファクションボタンを押します。緑色LEDが常時点灯になれば、ファクションボタンを離し、橙色LEDが点灯・点滅を繰り返している間に、スイッチボタンを押して、メモリーデータの送信を開始します。

4.5. メモリー削除

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * Z F C A *	全メモリー削除	

※ 動作

メモリーモードで動作していること確認(橙色LED点滅)して、下記の操作を行います。
ビープ音と橙色LEDが高速点滅するまでファクションボタンを押します。橙色LEDが高速点滅状態になれば、ファクションボタンを押したまま、スイッチボタンを押します。ビープ音が鳴り、メモリーデータが削除されます。

指定ワードのみを削除したい場合

指定ワードのみを削除したい場合は、ファクションボタンを押して、LEDビームを照射し、削除したい目的のバーコードをスキップします。該当ワードがあれば、ビープ音が鳴り、ワードが削除されます。該当ワードが無い場合は、1秒ビープ音が鳴ります。

4.6. メリデ-タ自動消去

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B E 7 A 0 *	無し	■
* B E 7 A 1 *	有り	

4.7. ファームウェアアップデートモード

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
コマンドバーコード	説明	デフォルト
* Z I S P *	ファームウェアアップデートモード	

4.8. Bluetooth ™ アリンク 制限

アリンク 確立後、他のデバイスとのアリンク を防ぎたい場合は、制限を「有り」に設定してください。

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
コマンドバーコード	説明	デフォルト
* C 4 2 8 1 *	無し	■
* C 4 2 8 0 *	有り	

4.9. Bluetooth 接続タイプ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 4 1 D 1 *	SPP スレーブ	
 * C 4 1 D 2 *	SPP マスタ	
 * C 4 1 D 3 *	HID	
 * C 4 1 D 4 *	iOS	
 * C 4 1 D 5 *	A303 ドングル	
 * C 4 1 D 6 *	A302 ドングル	

5. 一般動作に関するパラメータ

5.1. 日付フォーマット

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 2 C 0 *	YYYYMMDD	■
 * A 4 2 C 1 *	MMDDYYYY	
 * A 4 2 C 2 *	DDMMYYYY	
 * A 4 2 C 3 *	YYMMDD	
 * A 4 2 C 4 *	MMDDYY	
 * A 4 2 C 5 *	DDMMYY	

5.2. 時刻フォーマット

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 2 A 0 *	HHMMSS	■
 * A 4 2 A 1 *	HHMM	
 * A 4 2 A 2 *	MMSS	

5.3. チャージレート

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 3 0 0 *	300	■
 * A 4 3 0 1 *	1000	

5.4. ケーブルモード切り替え

「有効」にした場合、ケーブルを接続すると、豆っぴは、強制的にケーブルモードへ移行します。ケーブルが接続された状態では、他のモードを使用することはできません。ケーブルを取り外すと、先の動作モードへ復帰します。
ケーブルの接続有無に関係なく、特定に動作モードで運用したい場合は、「無効」に設定してください。

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 3 2 0 *	無効	
 * A 4 3 2 1 *	有効	■

5.5. 警告ブザー

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 5 4 0 *	無効	
 * A 4 5 4 1 *	有効	■

5.6. 警告ブザー音量

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 5 8 0 *	小	
 * A 4 5 8 1 *	中	
 * A 4 5 8 2 *	大	
 * A 4 5 8 3 *	最大	■

5.7. 警告バ イ レー タ

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンド バイコード	説明	デフォルト
	無効	■
	有効	

5.8. 設定モード バイレータ

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンド バイコード	説明	デフォルト
	無効	■
	有効	

5.9. メリデー タグ 送信

「有効」にした場合、メリデー タグ 送信時、最初にタグ 情報が送信されます。

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンド バイコード	説明	デフォルト
	無効	
	有効	■

タグ : シリアル番号送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンド バイコード	説明	デフォルト
	無効	
	有効	■

ハッダ：日時送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無効	
	有効	■

ハッダ：レポート数

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無効	
	有効	■

5.10. メリデ-タワタ送信

「有効」にした場合、メリデ-タ送信時、最後にハッダ 情報が送信されます。

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無効	
	有効	■

ワタ：シリアル番号送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無効	■
	有効	

フッタ: 日時送信

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 7 2 0 *	無効	■
 * A 4 7 2 1 *	有効	

フッタ: リコード数

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 7 3 0 *	無効	■
 * A 4 7 3 1 *	有効	

5.11. リアルタイムクロック設定

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * Z C L K *	リアルタイムクロック設定 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで日時をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、2014/09/09 14:13 に設定したい場合は、「設定開始」「リアルタイムクロック設定」「1」「4」「0」「9」「0」「9」「1」「4」「1」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	

5.12. LED びーム照度

LED びーム照度を低くすることで、消費電力を抑え、バッテリーを長持ちさせることができます。また、LED びームによる目への負担を軽減します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 E E O *	LED びーム照度 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで2桁の数値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は01~10です。例えば、一番明るい10に設定したい場合は、「設定開始」「LED びーム照度」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

5.13. 日付パレータ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A 5 6 E 2 *	<u>日付パレータ</u> 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バースコードで 2 桁の ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 00~FF です。例えば、-(2D) に設定したい場合は、「設定開始」「日付パレータ」「2」「F」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	-(2D)

16 進数バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

5.14. 時刻セレータ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 5 7 E 2 *	<u>時刻セレータ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで 2 桁の ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 00~FF です。例えば、:(3A) に設定したい場合は、「設定開始」「時刻セレータ」「3」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	: (3A)

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

5.15. 設定モード タイムアウト

設定モードで、ここで設定された時間、何にも操作が行われない状態が続くと、自動的に設定モードを終了し、通常の動作モードに復帰します。

設定開始	設定キャンセル	設定終了
-------------	----------------	-------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>設定モード タイムアウト</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 1~255 で、単位は秒です。例えば、1 秒に設定したい場合は、「設定開始」「設定モード タイムアウト」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	60

5.16. アドバコードタイマー

UPC/EAN コードのアドバコードを検出する時間を設定します。アドバ無しとアドバ有りのコードを混在して運用している際、このタイマーを長めに設定することで、確実にアドバコードを読み取ることが可能になります。

設定開始	設定キャンセル	設定終了
-------------	----------------	-------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>アドバコードタイマー</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 1~255 で、単位は秒です。例えば、1 秒に設定したい場合は、「設定開始」「アドバコードタイマー」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	20

数値バーコード	
0	1
2	3
4	5
6	7
8	9
確定	

5.17. 読取データ照合

ここで設定された回数、連続して同一データをデコードした場合に、読取データとして採用します。品質の悪いバーコードを読み取る場合の誤読防止として利用します。バーコードは規格に準じた品質のものを使用するようにしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B A 2 1 0 *	読取照合無し	■
 * B A 2 1 1 *	読取照合有り	
 * A 5 F E 0 *	読取データ照合回数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は1~10です。例えば、10回に設定したい場合は、「設定開始」「読取データ照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

5.18. 同一コード 二度読み防止タイマ-

連続読取モードで同一コードの二度読みを防止します。ここで設定された時間、同一コードの読み取りは行いません。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 5 A E 0 *	同一コード 二度読み防止タイマ- 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、1 秒に設定したい場合は、「設定開始」「同一コード 二度読み防止タイマ-」「1」「0」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

5.19. メリトヘッダ

メリトヘッダを送信する際、最初に送信されるヘッダ (文字列) を設定します。

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* A 7 0 E 6 *	<u>メリトヘッダ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 12 文字までの文字列が設定可能です。例えば、作業番号 123 に設定したい場合は、「設定開始」「メリトヘッダ」「3」「1」「3」「2」「3」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	<Header>

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % 0 K	

5.20. メリモードフッタ

メリモードを送信する際、最後に送信されるフッタ(文字列)を設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 6 0 E 6 *	<u>メリモードフッタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 12 文字までの文字列が設定可能です。例えば、作業番号 123 に設定したい場合は、「設定開始」「メリモードフッタ」「3」「1」「3」「2」「3」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	<Footer>

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

6. ケーブルモード オプション

6.1. USB-COM インターフェイス

6.1.1. データビット

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 0 2 0 *	7ビット	
 * A A 0 2 1 *	8ビット	■

6.1.2. ストップビット

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 0 3 0 *	1ビット	■
 * A A 0 3 1 *	2ビット	

6.1.3. パリティ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 0 D 0 *	無し	■
 * A A 0 D 1 *	偶数	
 * A A 0 D 2 *	奇数	
 * A A 0 D 3 *	スペース	
 * A A 0 D 4 *	マーク	

6.1.4. ホールレート

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 2 C 3 *	2400bps	
 * A A 2 C 4 *	4800bps	
 * A A 2 C 5 *	9600bps	
 * A A 2 C 6 *	19200bps	
 * A A 2 C 7 *	38400bps	
 * A A 2 C 8 *	57600bps	
 * A A 2 C 9 *	115200bps	■
 * A A 2 C A *	230400bps	
 * A A 2 C B *	460800bps	
 * A A 2 C C *	512000bps	

6.1.5. ACK/NAK フォトリ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 1 C 0 *	無し	■
 * A A 1 C 1 *	有り	

6.1.6. STX/ETX パケット

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 1 A 0 *	無し	■
 * A A 1 A 1 *	有り	

6.1.7. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A D E O *	<u>キャラクタ間送信デレイ挿入位置</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、1桁毎にデレイを挿入したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ挿入位置」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。0に設定すると、デレイは挿入されません。	0
 * A A E E O *	<u>キャラクタ間送信デレイ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255で、単位は1ミリ秒です。例えば、5ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2

6.1.8. ワード間送信デレイ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
--	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A F E O *	<u>ワード間送信デレイ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は0~255で、単位は10ミリ秒です。例えば、100ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ワード間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

6.1.9. 再送信回数

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 9 E 0 *	再送信回数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、5 回に設定したい場合は、「設定開始」「再送信回数」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2

6.1.10. ACK タイムアウト

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A A 9 E 0 *	ACK タイムアウト 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK タイムアウト」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

6.2. USB-HID インターフェイス

6.2.1. CAPS ロック/ALT シーケンス

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A B O A 0 *	自動	■
 * A B O A 1 *	CAPS ロックオン	
 * A B O A 2 *	CAPS ロックオフ	
 * A B O A 3 *	ALT シーケンス	

6.2.2. 数字キー送信

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A B O 6 0 *	英数字キー送信	■
 * A B O 6 1 *	数字キー送信	

6.2.3. CAPS ロックエミュレーション

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A B O 7 0 *	無し	■
 * A B O 7 1 *	有り	

6.2.4. キーボード言語

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* A B 1 C 0 *	英語キーボード	■
* A B 1 C 2 *	日本語キーボード	

6.2.5. キャラクタ間送信デレイ

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* A B D E 0 *	<u>キャラクタ間送信デレイ挿入位置</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、1 桁毎にデレイを挿入したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ挿入位置」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。0 に設定すると、デレイは挿入されません。	0
* A B E E 0 *	<u>キャラクタ間送信デレイ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 ミリ秒です。例えば、5 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2

数値バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

6.2.6. リート間送信デイルイ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A B F E O *	<u>リート間送信デイルイ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デイルイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

6.3. リードオプション

6.3.1. 読取モード

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B 8 0 8 0 *	<u>ゲットリードオン</u> スキャンボタンを押すと、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。指定時間が経過するか、バーコードの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	
* B 8 0 8 1 *	<u>モードオン</u> スキャンボタンを押している間、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。スキャンボタンを離すか、バーコードの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	■
* B 8 0 8 2 *	<u>連続読取</u> スキャンボタンを押すと、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。USB ケーブルが接続されている間、連続して読み取りを継続します。	
* B 8 0 8 3 *	<u>トグル</u> スキャンボタンを押すと、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。再度スキャンボタンを押すか、バーコードの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	

6.3.2. 同一コード読取防止

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B A 2 0 0 *	無し	■
* B A 2 0 1 *	有り	

6.3.3. 読取データ照合

ここで設定された回数、連続して同一データをデコードした場合に、読取データとして採用します。品質の悪いバーコードを読み取る場合の誤読防止として利用します。バーコードは規格に準じた品質のものを使用するようにしてください。

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B A 2 1 0 *	読取照合無し	■
* B A 2 1 1 *	読取照合有り	
* A 5 9 E 0 *	<u>読取データ照合回数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は1~10です。例えば、10回に設定したい場合は、「設定開始」「読取データ照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1

数値バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

6.3.4. LEDビーム照射時間

スキャンボタンを押すと、ここで設定された時間、LEDビームを照射して、バーコードの読み取りを試行します。この設定は、読取モード「グットリッド」で有効です。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 9 D E 0 *	<u>LEDビーム照射時間</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 5~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「LEDビーム照射時間」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

6.3.5. アイドルタイム

ここで設定された時間、何の操作も行われない状態が続くと、アイドルモード（省電力モード）へ移行します。アイドルモードでは、ほとんどの操作が行われず、直ちに復帰が可能です。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
--	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 9 E E 0 *	<u>アイドルタイム</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「アイドルタイム」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

6.3.6. 電源タイマー

アイドルモード(省電力モード)へ移行後、更にここで設定された時間、何の操作も行われない状態が続くと、自動的に電源を切にします。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 9 F E 0 *	<u>電源タイマー</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「電源タイマー」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

6.4. インデキータ

6.4.1. グットリードブザー

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B 8 5 0 0 *	無し	
* B 8 5 0 1 *	有り	■
* B 8 4 8 0 *	音量 小	
* B 8 4 8 1 *	音量 中	
* B 8 4 8 2 *	音量 大	
* B 8 4 8 3 *	音量 最大	■
* B 9 8 E 0 *	音色(周波数) 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、最高音の 255 に設定したい場合は、「設定開始」「音色(周波数)」「2」「5」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	27
* B 9 9 E 0 *	長さ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「長さ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

6.4.2. 警告ブザー

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 8 5 1 0 *	無し	
 * B 8 5 1 1 *	有り	■
 * B 8 4 9 0 *	音量 小	
 * B 8 4 9 1 *	音量 中	
 * B 8 4 9 2 *	音量 大	
 * B 8 4 9 3 *	音量 最大	■

6.4.3. イントブザー

動作モードやデータ送信モード移行など、スキャンボタンやファンクションボタンによるイント時に鳴るブザーを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 8 5 2 0 *	無し	
 * B 8 5 2 1 *	有り	■
 * B 8 4 A 0 *	音量 小	
 * B 8 4 A 1 *	音量 中	
 * B 8 4 A 2 *	音量 大	
 * B 8 4 A 3 *	音量 最大	■

6.4.4. グットリードバイブレータ

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
* B 8 6 0 0 *	無し	
* B 8 6 0 1 *	有り	■
* B 9 9 E 0 *	<u>長さ</u> 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「長さ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

6.4.5. 警告バイブレータ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 8 6 1 0 *	無し	
 * B 8 6 1 1 *	有り	■

6.4.6. イントバイブレータ

動作モードやデータ送信モード移行など、スキャンボタンやファンクションボタンによるイント時のバイブレータを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 8 6 2 0 *	無し	
 * B 8 6 2 1 *	有り	■

6.5. データフォーマットオプション

読取データの前後に任意の文字列やコード ID などを付加送信することが可能です。各フィールドは、個々に設定することが可能です。下記に基本データフォーマットを示します。

基本データフォーマット(メモリコードフォーマット)							
プリアップル	プリフィックス	コードネーム	コード ID ^(*1)	コード桁数 ^(*2)	読取データ	サフィックス	ポストアップル

(*1)コード ID は、読取データの後に送信することも可能です。

(*2)2 桁(5 桁=05)で送信されます。

6.5.1. プリアップル

設定開始	設定キャンセル	設定終了

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	送信無し	■
	送信有り	
	<u>プリアップル</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 2 文字までの文字列が設定可能です。例えば、作業番号 12 に設定したい場合は、「設定開始」「プリアップル」「3」「1」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0	1
2	3
4	5
6	7
8	9
A	B
C	D
E	F
確定	

6.5.2. ホストアプブル

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B A 0 1 0 *	送信無し	
* B A 0 1 1 *	送信有り	■
* B A E E 3 *	ホストアプブル 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で2文字までの文字列が設定可能です。例えば、CR(0Dh)/LF(0Ah)に設定したい場合は、「設定開始」「ホストアプブル」「0」「D」「0」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	CR/LF

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

6.5.3. プリフィックス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B A 0 2 0 *	送信無し	■
* B A 0 2 1 *	送信有り	
* B B 0 E 5 *	<u>プリフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 8 文字までの文字列が設定可能です。例えば、ABC に設定したい場合は、「設定開始」「プリフィックス」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

6.5.4. サフィックス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* B A 0 3 0 *	送信無し	■
* B A 0 3 1 *	送信有り	
* B B 8 E 5 *	<u>サフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で8文字までの文字列が設定可能です。例えば、CR(0Dh)/LF(0Ah)に設定したい場合は、「設定開始」「サフィックス」「0」「D」「0」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

6.5.5. コード ID

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	送信無し	■
	送信有り	
	読取データの前に送信	■
	読取データの後に送信	

バーコード シンボル	コード ID
UPC-A	A
UPC-E	E
JAN-13/EAN-13	F
JAN-8/EAN-8	FF
コード 39	M
インターリーブド 2/5	I
インダストリアル 2/5	H
マトリクス 2/5	G
コードバー (NW7)	N
コード 128	K
コード 93	L
コード 11	O
MSI/PLESSEY	P
UK/Plessey	R
Telepen	S
GS1 Databar	T
GS1 Databar Limited	U
GS1 Databar Stacked	V
GS1 Databar Expanded	W
GS1 Databar Expanded Stacked	X

6.5.6. コード桁数

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	送信無し	■
	送信有り	

6.5.7. コードネーム

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	送信無し	■
	送信有り	

6.5.8. 制御コードファンクション変換

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	有り	

6.5.9. タイムスタンプ

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	タイムスタンプデリミタ無し	■
	タイムスタンプデリミタ有り	
	タイムスタンプを読取データの前に送信	■
	タイムスタンプを読取データの後に送信	
	日付送信無し	■
	日付送信有り	
	時刻送信無し	■
	時刻送信有り	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B A B E 2 *	<u>タイムスタンプデリミタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、;(3Bh)に設定したい場合は、「設定開始」「タイムスタンプデリミタ」「3」「B」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	スペース
 * B A A 2 *	<u>日付/時刻デリミタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、;(3Bh)に設定したい場合は、「設定開始」「タイムスタンプデリミタ」「3」「B」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	スペース

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

6.5.10. 英字大文字/小文字変換

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B A 1 1 0 *	無し	■
 * B A 1 1 1 *	反転変換	
 * B A 1 4 0 *	小文字変換	
 * B A 1 4 1 *	大文字変換	

7. メモリー オプション

7.1. インターフェイス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンド バージョン	説明	デフォルト
	アプリ標準 (その時点で有効なインターフェイス)	■
	USB-HID	
	USB-COM	
	Bluetooth SPP	
	マストレージ	

7.2. リード オプション

7.2.1. 読取モード

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンド バージョン	説明	デフォルト
	<u>グットリド オフ</u> スキャン ボタンを押すと、LED を照射し、バージョンの読み取りを行います。指定時間が経過するか、バージョンの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	
	<u>モード列</u> スキャン ボタンを押している間、LED を照射し、バージョンの読み取りを行います。スキャン ボタンを離すか、バージョンの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	■
	<u>連続読取</u> スキャン ボタンを押すと、LED を照射し、バージョンの読み取りを行います。USB ケーブルが接続されている間、連続して読み取りを継続します。	
	<u>トリプル</u> スキャン ボタンを押すと、LED を照射し、バージョンの読み取りを行います。再度スキャン ボタンを押すか、バージョンの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	

7.2.2. 同一コード読取防止

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	有り	

7.2.3. 読取データ照合

ここで設定された回数、連続して同一データをデコードした場合に、読取データとして採用します。品質の悪いバーコードを読み取る場合の誤読防止として利用します。バーコードは規格に準じた品質のものを使用するようにしてください。

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読取照合無し	■
	読取照合有り	
	読取データ照合回数 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 1~10 です。例えば、10 回に設定したい場合は、「設定開始」「読取データ照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1

数値バーコード	
0 	1
2 	3
4 	5
6 	7
8 	9
確定 	

7.2.4. LEDビーム照射時間

スキャンボタンを押すと、ここで設定された時間、LEDビームを照射して、バーコードの読み取りを試行します。この設定は、読取モード「グットリッド」で有効です。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B F D E O *	<u>LEDビーム照射時間</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 5~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「LEDビーム照射時間」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

7.2.5. アイドルタイム

ここで設定された時間、何の操作も行われない状態が続くと、アイドルモード（省電力モード）へ移行します。アイドルモードでは、ほとんどの操作が行われず、直ちに復帰が可能です。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
--	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B F E E O *	<u>アイドルタイム</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「アイドルタイム」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

7.2.6. 電源タイマー

アイドルモード(省電力モード)へ移行後、更にここで設定された時間、何の操作も行われない状態が続くと、自動的に電源を切にします。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B F F E O *	<u>電源タイマー</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「電源タイマー」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

7.3. イデ ｲｰﾀ

7.3.1. ｸﾞｯﾄﾞﾘｰﾄﾌﾞｻｰ

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定ｷｬﾝｾﾙ * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

ｺﾏﾝﾄﾞﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	説明	ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
* B E 5 0 0 *	無し	
* B E 5 0 1 *	有り	■
* B E 4 8 0 *	音量 小	
* B E 4 8 1 *	音量 中	
* B E 4 8 2 *	音量 大	
* B E 4 8 3 *	音量 最大	■

数値ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

7.3.2. 警告ブザー

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 5 1 0 *	無し	
 * B E 5 1 1 *	有り	■
 * B E 4 9 0 *	音量 小	
 * B E 4 9 1 *	音量 中	
 * B E 4 9 2 *	音量 大	
 * B E 4 9 3 *	音量 最大	■

7.3.3. イントブザー

動作モードやデータ送信モード移行など、スキャンボタンやファンクションボタンによるイント時に鳴るブザーを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 6 2 0 *	無し	
 * B E 6 2 1 *	有り	■
 * B E 4 A 0 *	音量 小	
 * B E 4 A 1 *	音量 中	
 * B E 4 A 2 *	音量 大	
 * B E 4 A 3 *	音量 最大	■

7.3.4. グットリードバイブレータ

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
* B E 6 0 0 *	無し	
* B E 6 0 1 *	有り	■
* B F A E O *	<u>長さ</u> 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「長さ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	5

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

7.3.5. 警告バイブレータ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 6 1 0 *	無し	
 * B E 6 1 1 *	有り	■

7.3.6. イントバイブレータ

動作モードやデータ送信モード移行など、スキャンボタンやファンクションボタンによるイント時のバイブレータを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 6 2 0 *	無し	
 * B E 6 2 1 *	有り	■

7.4. データ送信オプション

7.4.1. データ送信方法

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 7 C 0 *	バッチ送信(一括)	■
 * B E 7 C 1 *	リコード単位(スキャンボタンを押すごとに1リコード送信)	

7.4.2. データ自動削除

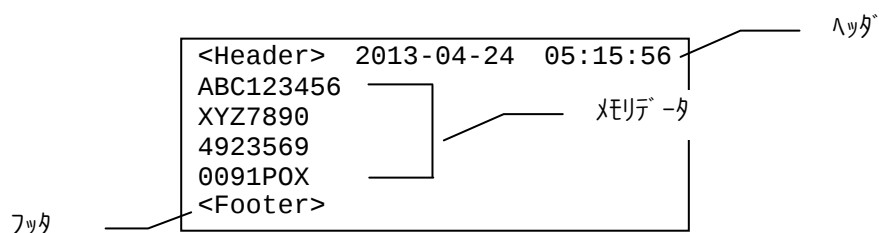
全データ送信後、自動的にメモリデータを削除するかを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 7 A 0 *	無し	■
 * B E 7 A 1 *	有り	

7.5. ヘッダ フッタオプション

ヘッダ 及びフッタは、それぞれメリデータ送信時、最初と最後に送信されるオプションデータです。下記に送信例を示します。



7.5.1. ヘッダ 送信

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B E 7 6 0 *	無し	
 * B E 7 6 1 *	有り	■

ヘッダ：シリアル番号送信

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 6 1 0 *	無効	
 * A 4 6 1 1 *	有効	■

ヘッダ：日時送信

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 6 2 0 *	無効	
 * A 4 6 2 1 *	有効	■

ヘッダ：レコード数

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
コマンドバーコード 	無効	
	有効	■

7.5.2. フッタ送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
コマンドバーコード 	無し	
	有り	■

フッタ：シリアル番号送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
コマンドバーコード 	無効	■
	有効	

フッタ：日時送信

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
コマンドバーコード 	無効	
	有効	■

フッタ: リコード 数

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
--	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A 4 7 3 0 *	無効	
 * A 4 7 3 1 *	有効	■

7.6. データフォーマットオプション

読取データの前後に任意の文字列やコード ID などを付加送信することが可能です。各フィールドは、個々に設定することが可能です。下記に基本データフォーマットを示します。

基本データフォーマット(メモリコードフォーマット)							
プリアップル	プリフィックス	コードネーム	コード ID ^(*1)	コード桁数 ^(*2)	読取データ	サフィックス	ポストアップル

(*1)コード ID は、読取データの後に送信することも可能です。

(*2)2 桁(5 桁=05)で送信されます。

7.6.1. プリアップル

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 0 0 0 *	送信無し	■
 * C 0 0 0 0 1 *	送信有り	
 * C 0 C E 3 *	<u>プリアップル</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 2 文字までの文字列が設定可能です。例えば、作業番号 12 に設定したい場合は、「設定開始」「プリアップル」「3」「1」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

7.6.2. ホストアプブル

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 0 1 0 *	送信無し	
 * C 0 0 1 1 *	送信有り	■
 * C 0 E E 3 *	ホストアプブル 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で2文字までの文字列が設定可能です。例えば、CR(0Dh)/LF(0Ah)に設定したい場合は、「設定開始」「ホストアプブル」「0」「D」「0」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	CR/LF

16進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

7.6.3. フリックス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* C 0 0 2 0 *	送信無し	■
* C 0 0 2 1 *	送信有り	
* C 1 0 E 5 *	<u>フリックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 8 文字までの文字列が設定可能です。例えば、ABC に設定したい場合は、「設定開始」「フリックス」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

7.6.4. サフィックス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* C 0 0 3 0 *	送信無し	■
* C 0 0 3 1 *	送信有り	
* C 1 8 E 5 *	<u>サフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で8文字までの文字列が設定可能です。例えば、CR(0Dh)/LF(0Ah)に設定したい場合は、「設定開始」「サフィックス」「0」「D」「0」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

7.6.5. コード ID

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 0 4 0 *	送信無し	■
 * C 0 0 4 1 *	送信有り	
 * C 0 0 5 0 *	読取データの前に送信	■
 * C 0 0 5 1 *	読取データの後に送信	

バーコードシンボル	コード ID
UPC-A	A
UPC-E	E
JAN-13/EAN-13	F
JAN-8/EAN-8	FF
コード 39	M
インターリーブド 2/5	I
インダストリアル 2/5	H
マトリクス 2/5	G
コードバー (NW7)	N
コード 128	K
コード 93	L
コード 11	O
MSI/PLESSEY	P
UK/Plessey	R
Telepen	S
GS1 Databar	T
GS1 Databar Limited	U
GS1 Databar Stacked	V
GS1 Databar Expanded	W
GS1 Databar Expanded Stacked	X

7.6.6. コード桁数

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 0 6 0 *	送信無し	■
 * C 0 0 6 1 *	送信有り	

7.6.7. コードネーム

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 0 7 0 *	送信無し	■
 * C 0 0 7 1 *	送信有り	

7.6.8. 制御コードファンクション変換

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

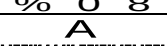
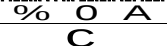
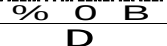
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 1 0 0 *	無し	■
 * C 0 1 0 1 *	有り	

7.6.9. タイムスタンプ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 1 1 0 *	タイムスタンプ デリミタ無し	■
 * C 0 1 1 1 *	タイムスタンプ デリミタ有り	
 * C 0 1 2 0 *	タイムスタンプ を読取データの前に送信	■
 * C 0 1 2 1 *	タイムスタンプ を読取データの後に送信	
 * C 0 1 3 0 *	日付送信無し	■
 * C 0 1 3 1 *	日付送信有り	
 * C 0 1 4 0 *	時刻送信無し	■
 * C 0 1 4 1 *	時刻送信有り	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 B E 2 *	<u>タイムスタンプデリミタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、;(3Bh)に設定したい場合は、「設定開始」「タイムスタンプデリミタ」「3」「B」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	スペース
 * C 0 A E 2 *	<u>日付/時刻デリミタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、;(3Bh)に設定したい場合は、「設定開始」「タイムスタンプデリミタ」「3」「B」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	スペース

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

7.6.10. 英字大文字/小文字変換

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 0 3 8 0 *	無し	■
 * C 0 3 8 1 *	反転変換	
 * C 0 3 8 2 *	小文字変換	
 * C 0 3 8 3 *	大文字変換	

8. Bluetooth 接続

8.1. 接続ファイル

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 4 1 D 1 *	SPP スレーブ	■
 * C 4 1 D 2 *	SPP マスター	
 * C 4 1 D 3 *	HID	
 * C 4 1 D 4 *	iOS-HID	
 * C 4 1 D 5 *	A303 ドングル	
 * C 4 1 D 6 *	A302 ドングル	

8.2. 入° リング° タイムアウト

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンド バ-コード	説明	デフォルト
 * C 5 7 E 0 *	<u>入° リング° タイムアウト</u> 左のコマンド バ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定範囲は、0～255 で、単位は 1 秒です。例えば、10 秒に設定したい場合は、「設定開始」「入° リング° タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	90

8.3. PIN コード

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンド バ-コード	説明	デフォルト
 * B 0 0 E 9 *	<u>PIN コード</u> 左のコマンド バ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで 8 桁までの値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。例えば、PIN コード を「1234」に設定したい場合は、「設定開始」「PIN コード」「1」「2」「3」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1234

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.4. BD アドレス

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B O 8 F E *	BD アドレス 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。12 文字の BD アドレスを設定します。例えば、「001C97FE16EC」に設定したい場合は、「設定開始」「BD アドレス」「0」「0」「1」「C」「9」「7」「F」「E」「1」「6」「E」「C」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	000000000000

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

8.5. デバイス名

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 1 4 E 6 *	<u>デバイス名</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で12文字までの文字列が設定可能です。例えば、「BT Scanner」に設定したい場合は、「設定開始」「デバイス名」「5」「2」「5」「4」「2」「0」「5」「3」「6」「3」「6」「1」「6」「E」「6」「E」「6」「5」「7」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	SmartBt

16進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

8.6. A302/303 トンガール用 BD プリンタ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 2 8 F E *	<u>A302/303 トンガール用 BD プリンタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。12 文字の BD プリンタを設定します。例えば、「001C97FE16EC」に設定したい場合は、「設定開始」「A302/303 トンガール用 BD プリンタ」「0」「0」「1」「C」「9」「7」「F」「E」「1」「6」「E」「C」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	000000000000

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

8.7. A302/303 トンネル用デバイスネーム

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * B 3 4 E 6 *	A302/303 トンネル用デバイスネーム 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 12 文字までの文字列が設定可能です。例えば、「BT Scanner」に設定したい場合は、「設定開始」「A302/303 トンネル用デバイスネーム」「5」「2」「5」「4」「2」「0」「5」「3」「6」「3」「6」「1」「6」「E」「6」「E」「6」「5」「7」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	SmartBt

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

8.8. SPP 拡張

8.8.1. ACK/NAK フォトリ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A E 1 C 0 *	無し	■
 * A E 1 C 1 *	有り	

8.8.2. STX/ETX パケット

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A E 1 A 0 *	無し	■
 * A E 1 A 1 *	有り	

8.8.3. キャラクタ間送信デレイ

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
* A E D E O *	<u>キャラクタ間送信デレイ挿入位置</u> 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は0~255です。例えば、1桁毎にデレイを挿入したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ挿入位置」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。0に設定すると、デレイは挿入されません。	0
* A E E E O *	<u>キャラクタ間送信デレイ</u> 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は0~255で、単位は1ミリ秒です。例えば、5ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

8.8.4. リート間送信ディレイ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A E F E O *	<u>リート間送信ディレイ</u> 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信ディレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

8.8.5. 送信タイムアウト

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A E C E O *	<u>送信タイムアウト</u> 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 2~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「送信タイムアウト」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.8.6. 再送信回数

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A E 9 E 0 *	再送信回数 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、5 回に設定したい場合は、「設定開始」「再送信回数」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2

8.8.7. ACK タイムアウト

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 * A E A E 0 *	ACK タイムアウト 左のコマンドバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「ACK タイムアウト」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.9. HID 対応

8.9.1. CAPS ロック/ALT シーケンス

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
コマンド バージョン	説明	デフォルト
 * A F 0 A 1 *	CAPS ロックオン	■
 * A F 0 A 2 *	CAPS ロックオフ	
 * A F 0 A 3 *	ALT シーケンス	

8.9.2. 数字キー送信

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
コマンド バージョン	説明	デフォルト
 * A F 0 6 0 *	英数字キー送信	■
 * A F 0 6 1 *	数字キー送信	

8.9.3. キーボード言語

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
コマンド バージョン	説明	デフォルト
 * A F 1 C 0 *	英語キーボード	■
 * A F 1 C 2 *	日本語キーボード	

8.9.4. キャラクタ間送信デレイ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A F D E O *	<u>キャラクタ間送信デレイ挿入位置</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、1 桁毎にデレイを挿入したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ挿入位置」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。0 に設定すると、デレイは挿入されません。	0
 * A F E E O *	<u>キャラクタ間送信デレイ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 ミリ秒です。例えば、5 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「キャラクタ間送信デレイ」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	2

8.9.5. ワード間送信デレイ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
--	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A F F E O *	<u>ワード間送信デレイ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「ワード間送信デレイ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.9.6. 送信タイムアウト

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * A B F E O *	<u>送信タイムアウト</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 2~255 で、単位は 1 秒です。例えば、10 秒に設定したい場合は、「設定開始」「送信タイムアウト」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.10. リードアップ

8.10.1. 読取モード

設定開始	設定キャンセル	設定終了
-------------	----------------	-------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>グットリドアップ</u> スキャンボタンを押すと、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。指定時間が経過するか、バーコードの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	
	<u>メモリー</u> スキャンボタンを押している間、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。スキャンボタンを離すか、バーコードの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	■
	<u>連続読取</u> スキャンボタンを押すと、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。USB ケーブルが接続されている間、連続して読み取りを継続します。	
	<u>トグル</u> スキャンボタンを押すと、LED を照射し、バーコードの読み取りを行います。再度スキャンボタンを押すか、バーコードの読み取りに成功すると、読み取りを終了します。	

8.10.2. 同一コード読取防止

設定開始	設定キャンセル	設定終了
-------------	----------------	-------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	■
	有り	

8.10.3. 読取データ照合

ここで設定された回数、連続して同一データをデコードした場合に、読取データとして採用します。品質の悪いバーコードを読み取る場合の誤読防止として利用します。バーコードは規格に準じた品質のものを使用するようにしてください。

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* C 6 2 1 0 *	読取照合無し	■
* C 6 2 1 1 *	読取照合有り	
* A 5 9 E 0 *	<u>読取データ照合回数</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 1~10 です。例えば、10 回に設定したい場合は、「設定開始」「読取データ照合回数」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1

数値バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

8.10.4. LEDビーム照射時間

スキャンボタンを押すと、ここで設定された時間、LEDビームを照射して、バーコードの読み取りを試行します。この設定は、読取モード「グッドリードオン」で有効です。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 5 D E O *	<u>LEDビーム照射時間</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 5~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「LEDビーム照射時間」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

8.10.5. アイドルタイム

ここで設定された時間、何の操作も行われない状態が続くと、アイドルモード（省電力モード）へ移行します。アイドルモードでは、ボタン操作が行われると、直ちに復帰が可能です。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
--	--	---

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 5 E E O *	<u>アイドルタイム</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「アイドルタイム」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	3

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.10.6. 電源タイマー

アイドリングモード(省電力モード)へ移行後、更にここで設定された時間、何の操作も行われない状態が続くと、自動的に電源を切にします。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 5 F E 0 *	<u>電源タイマー</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 1 秒です。例えば、5 秒に設定したい場合は、「設定開始」「電源タイマー」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.11. インデキータ

8.11.1. グットリッドフザー

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	無し	
	有り	■
	音量 小	
	音量 中	
	音量 大	
	音量 最大	■
	音色(周波数) 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 で、単位は 100Hz です。例えば、最高音の 255 に設定したい場合は、「設定開始」「音色(周波数)」「2」「5」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	27
	長さ 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「長さ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	10

数値バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

8.11.2. 警告ブザー

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 4 5 1 0 *	無し	
 * C 4 5 1 1 *	有り	■
 * C 4 4 9 0 *	音量 小	
 * C 4 4 9 1 *	音量 中	
 * C 4 4 9 2 *	音量 大	
 * C 4 4 9 3 *	音量 最大	■

8.11.3. イベントブザー

動作モードやデータ送信モード移行など、スキャンボタンやファンクションボタンによるイベント時に鳴るブザーを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 4 5 2 0 *	無し	
 * C 4 5 2 1 *	有り	■
 * C 4 4 A 0 *	音量 小	
 * C 4 4 A 1 *	音量 中	
 * C 4 4 A 2 *	音量 大	
 * C 4 4 A 3 *	音量 最大	■

8.11.4. グットリードバイレタ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 * C 4 6 0 0 *	無し	
 * C 4 6 0 1 *	有り	■
 * C 5 A E 0 *	長さ 左のコマンドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 で、単位は 10 ミリ秒です。例えば、100 ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「長さ」「1」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	5

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

8.11.5. 警告バ イ レー タ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンド バ ー コード	説明	デ ィ フォルト
 * C 4 6 1 0 *	無し	
 * C 4 6 1 1 *	有り	■

8.11.6. イ ベ ント バ イ レー タ

動作モード や デ ータ送信モード 移行など、スキャンホ ックやファンクションホ ックによるイ ベ ント時のバ イ レー タを設定します。

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンド バ ー コード	説明	デ ィ フォルト
 * C 4 6 2 0 *	無し	
 * C 4 6 2 1 *	有り	■

8.12. データフォーマットオプション

読取データの前後に任意の文字列やコード ID などを付加送信することが可能です。各フィールドは、個々に設定することが可能です。下記に基本データフォーマットを示します。

基本データフォーマット(メモリコードフォーマット)							
プリアンブル	プリフィックス	コードネーム	コードID ^(*)	コード桁数 ^(*)	読取データ	サフィックス	ホストアンブル

(*)コード ID は、読取データの後に送信することも可能です。

(*)2 桁(5 桁=05)で送信されます。

8.12.1. プリアンブル

設定開始	設定キャンセル	設定終了
 * / \$ % E N T R *	 * Z E X T *	 * Z E N D *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 6 0 0 0 *	送信無し	■
 * C 0 0 0 0 1 *	送信有り	
 * C 6 C E 3 *	<u>プリアンブル</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 2 文字までの文字列が設定可能です。例えば、作業番号 12 に設定したい場合は、「設定開始」「プリアンブル」「3」「1」「3」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

8.12.2. ホストアプ ル

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンド バ -コード	説明	デ ィフォルト
* C 6 0 1 0 *	送信無し	
* C 6 0 1 1 *	送信有り	■
* C 6 E E 3 *	ホストアプ ル 左のコマンド バ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をスキャンします。最大で 2 文字までの文字列が設定可能です。例えば、CR(0Dh)/LF(0Ah)に設定したい場合は、「設定開始」「ホストアプ ル」「0」「D」「0」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	CR/LF

16 進数バ -コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

8.12.3. プリフィックス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* C 6 0 2 0 *	送信無し	■
* C 6 0 2 1 *	送信有り	
* C 7 0 E 5 *	<u>プリフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 8 文字までの文字列が設定可能です。例えば、ABC に設定したい場合は、「設定開始」「プリフィックス」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

8.12.4. サフィックス

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* C 6 0 3 0 *	送信無し	■
* C 6 0 3 1 *	送信有り	
* C 7 8 E 5 *	<u>サフィックス</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。最大で 8 文字までの文字列が設定可能です。例えば、CR(0Dh)/LF(0Ah)に設定したい場合は、「設定開始」「サフィックス」「0」「D」「0」「A」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し

16 進数バーコード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
A % 0 A	B % 0 B
C % 0 C	D % 0 D
E % 0 E	F % 0 F
確定 % O K	

8.12.5. コード ID

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	送信無し	■
	送信有り	
	読取データの前に送信	■
	読取データの後に送信	

バーコードシンボル	コード ID
UPC-A	A
UPC-E	E
JAN-13/EAN-13	F
JAN-8/EAN-8	FF
コード 39	M
インターリーブド 2/5	I
インダストリアル 2/5	H
マトリクス 2/5	G
コードバー (NW7)	N
コード 128	K
コード 93	L
コード 11	O
MSI/PLESSEY	P
UK/Plessey	R
Telepen	S
GS1 Databar	T
GS1 Databar Limited	U
GS1 Databar Stacked	V
GS1 Databar Expanded	W
GS1 Databar Expanded Stacked	X

8.12.6. コード桁数

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	送信無し	■
	送信有り	

8.12.7. コードネーム

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 6 0 7 0 *	送信無し	■
 * C 6 0 7 1 *	送信有り	

8.12.8. 制御コードファンクションキー変換

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 6 1 0 0 *	無し	■
 * C 6 1 0 1 *	有り	

8.12.9. タイムスラフ

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 6 1 1 0 *	タイムスラフデリミタ無し	■
 * C 6 1 1 1 *	タイムスラフデリミタ有り	
 * C 6 1 2 0 *	タイムスラフを読取データの前に送信	■
 * C 6 1 2 1 *	タイムスラフを読取データの後に送信	
 * C 6 1 3 0 *	日付送信無し	■
 * C 6 1 3 1 *	日付送信有り	
 * C 6 1 4 0 *	時刻送信無し	■
 * C 6 1 4 1 *	時刻送信有り	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 6 B E 2 *	<u>タイムスタンプデリミタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、;(3Bh)に設定したい場合は、「設定開始」「タイムスタンプデリミタ」「3」「B」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	スペース
 * C 6 A E 2 *	<u>日付/時刻デリミタ</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の16進数バーコードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。例えば、;(3Bh)に設定したい場合は、「設定開始」「タイムスタンプデリミタ」「3」「B」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	スペース

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

8.12.10. 英字大文字/小文字変換

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * C 6 3 8 0 *	無し	■
 * C 6 3 8 1 *	反転変換	
 * C 6 3 8 2 *	小文字変換	
 * C 6 3 8 3 *	大文字変換	

9. バコードに関するパラメータ

9.1. UPC-A

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバコード	説明	デフォルト
 * D 0 0 0 0 *	読み取り無し	
 * D 0 0 0 1 *	読み取り有り	■
 * D 0 0 1 0 *	アドオン必須読み取り無し	■
 * D 0 0 1 1 *	アドオン必須読み取り有り	
 * D 0 1 9 0 *	アドオン無し	■
 * D 0 1 9 1 *	アドオン2	
 * D 0 1 9 2 *	アドオン5	
 * D 0 1 9 3 *	アドオン2 & 5	
 * D 0 0 7 0 *	チェックビット送信無し	
 * D 0 0 7 1 *	チェックビット送信有り	■
 * D 0 0 6 0 *	先頭0削除無し	■
 * D 0 0 6 1 *	先頭0削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * D 1 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	1
 * D 1 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * D 1 6 E 0 *	<u>ユーザ-メッセージ 挿入位置①</u> 左のマストバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コード で値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザ-メッセージ を挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ 挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 1 7 E 0 *	<u>ユーザ-メッセージ 挿入位置②</u> 左のマストバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コード で値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザ-メッセージ を挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ 挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マシドバ-コド	説明	デフォルト
 * D 1 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマシドバ-コドをマシソした後、続けて下記の 16 進数バ-コドで ASCII コドをマシソし、最後に「確定」「設定終了」バ-コドをマシソします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でマシソします。	無し
 * D 1 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマシドバ-コドをマシソした後、続けて下記の 16 進数バ-コドで ASCII コドをマシソし、最後に「確定」「設定終了」バ-コドをマシソします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でマシソします。	無し
 * D 1 C E 3 *	<u>コド ID</u> 左のマシドバ-コドをマシソした後、続けて下記の 16 進数バ-コドで ASCII コドをマシソし、最後に「確定」「設定終了」バ-コドをマシソします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「コド ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でマシソします。	A

16 進数バ-コド	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % O K	

9.2. UPC-E

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* D 2 0 0 0 *	読み取り無し	
* D 2 0 0 1 *	読み取り有り	■
* D 2 0 1 0 *	アドオン必須読み取り無し	■
* D 2 0 1 1 *	アドオン必須読み取り有り	
* D 2 1 9 0 *	アドオン無し	■
* D 2 1 9 1 *	アドオン 2	
* D 2 1 9 2 *	アドオン 5	
* D 2 1 9 3 *	アドオン 2 & 5	
* D 2 0 2 0 *	UPC-A 変換無し	■
* D 2 0 2 1 *	UPC-A 変換有り	
* D 2 0 7 0 *	チェックビット送信無し	
* D 2 0 7 1 *	チェックビット送信有り	■
* D 2 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
* D 2 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

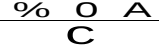
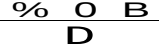
マストバースコード	説明	デフォルト
 * D 3 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 3 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * D 3 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 3 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * D 3 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 3 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 3 A E 3 *	<u>コード ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	E
 * D 3 E E 3 *	<u>タグコード ID(UPC-A 変換有りの場合に使用されます)</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「タグコード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	E

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.3. JAN/EAN-13

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* D 4 0 0 0 *	読み取り無し	
* D 4 0 0 1 *	読み取り有り	■
* D 4 0 1 0 *	アドオン必須読み取り無し	■
* D 4 0 1 1 *	アドオン必須読み取り有り	
* D 4 1 9 0 *	アドオン無し	■
* D 4 1 9 1 *	アドオン2	
* D 4 1 9 2 *	アドオン5	
* D 4 1 9 3 *	アドオン2 & 5	
* D 4 0 2 0 *	ISBN/ISSN 変換無し	■
* D 4 0 2 1 *	ISBN/ISSN 変換有り	
* D 4 0 7 0 *	チェックビット送信無し	
* D 4 0 7 1 *	チェックビット送信有り	■
* D 4 0 6 0 *	先頭0 削除無し	■
* D 4 0 6 1 *	先頭0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * D 5 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 5 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * D 5 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 5 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * D 5 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 5 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 5 C E 3 *	<u>コード ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	F
 * D 5 E E 3 *	<u>タグコード ID (ISBN/ISSN 変換有りの場合に使用されます)</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「タグコード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	F

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.4. JAN/EAN-8

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読み取り無し	
	読み取り有り	■
	アドオン必須読み取り無し	■
	アドオン必須読み取り有り	
	アドオン無し	■
	アドオン2	
	アドオン5	
	アドオン2 & 5	
	EAN-13 変換無し	■
	EAN-13 変換有り	
	チェックビット送信無し	
	チェックビット送信有り	■
	先頭0 削除無し	■
	先頭0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * D 7 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 7 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D 7 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 7 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * D 7 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 7 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 7 C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	FF
 * D 7 E E 3 *	<u>タグコード ID (EAN-13 変換有りの場合に使用されます)</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「タグコード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	FF

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.5. コード 39

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* D 8 0 0 0 *	読み取り無し	
* D 8 0 0 1 *	読み取り有り	■
* D 8 1 9 0 *	フルアスキー読み取り無し	■
* D 8 1 9 1 *	フルアスキー読み取り有り	
* D 8 0 3 0 *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
* D 8 0 3 1 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り	
* D 8 1 8 0 *	チェックビット検査無し	■
* D 8 1 8 1 *	チェックビット検査有り	
* D 8 0 7 0 *	チェックビット送信無し	■
* D 8 0 7 1 *	チェックビット送信有り	
* D 8 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
* D 8 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D 9 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D 9 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D 9 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 9 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % 0 K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * D 9 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D 9 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D 9 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 9 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D 9 C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	M
 * D 9 E E 3 *	<u>ギャップコード ID(フラスキ-読み取り有りの場合に使用されます)</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ギャップコード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	M

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.6. インタープリント 25

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D E 0 0 0 *	読み取り無し	■
 * D E 0 0 1 *	読み取り有り	
 * D E 1 8 0 *	チェックビット検査無し	■
 * D E 1 8 1 *	チェックビット検査有り	
 * D E 0 7 0 *	チェックビット送信無し	■
 * D E 0 7 1 *	チェックビット送信有り	
 * D E 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
 * D E 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D F 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D F 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D F 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D F 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % 0 K	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D F 6 E 0 *	<u>ユーザ-メッセージ 挿入位置①</u> 左のマントバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コード で値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザ-メッセージ を挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ 挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D F 7 E 0 *	<u>ユーザ-メッセージ 挿入位置②</u> 左のマントバ-コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ-コード で値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザ-メッセージ を挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ 挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % O K	

マシドバ-コード	説明	デフォルト
 * D F 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマシドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D F A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマシドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D F C E 3 *	<u>コード ID</u> 左のマシドバ-コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コード をスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	I

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.7. インターストリアル 25

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * E 0 0 0 0 *	読み取り無し	■
 * E 0 0 0 1 *	読み取り有り	
 * E 0 1 8 0 *	チェックビット検査無し	■
 * E 0 1 8 1 *	チェックビット検査有り	
 * E 0 0 7 0 *	チェックビット送信無し	■
 * E 0 0 7 1 *	チェックビット送信有り	
 * E 0 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
 * E 0 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * E 1 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * E 1 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * E 1 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E 1 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % 0 K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * E 1 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	00
 * E 1 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	00

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * E 1 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E 1 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E 1 C E 3 *	<u>ジョブ ID</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「ジョブ ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	J

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.8. マトリクス 25

設定開始  * / \$ % E N T E R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * E 2 0 0 0 *	読み取り無し	■
 * E 2 0 0 1 *	読み取り有り	
 * E 2 1 8 0 *	チェックビット検査無し	■
 * E 2 1 8 1 *	チェックビット検査有り	
 * E 2 0 6 0 *	チェックビット送信無し	■
 * E 2 0 6 1 *	チェックビット送信有り	
 * E 2 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
 * E 2 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * E 3 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * E 3 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * E 3 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E 3 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % 0 K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * E 3 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E 3 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マシドバ-コード	説明	デフォルト
 * E 3 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマシドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E 3 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマシドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E 3 C E 3 *	<u>コード ID</u> 左のマシドバ-コードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ-コードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	G

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.9. コマンドバー(NW7)

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D C 0 0 0 *	読み取り無し	
 * D C 0 0 1 *	読み取り有り	■
 * D C 0 2 0 *	同一スタート/ストップ キャラクタ限定読み取り無し	■
 * D C 0 2 1 *	同一スタート/ストップ キャラクタ限定読み取り有り	
 * D C 0 3 0 *	スタート/ストップ キャラクタ送信無し	■
 * D C 0 3 1 *	スタート/ストップ キャラクタ送信有り	
 * D C 1 A 0 *	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/ABCD	■
 * D C 1 A 1 *	スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd	
 * D C 1 A 2 *	スタート/ストップ キャラクタ ABCD/TN*E	
 * D C 1 A 3 *	スタート/ストップ キャラクタ abcd/tn*e	
 * D C 1 8 0 *	チェックサム 検査無し	■
 * D C 1 8 1 *	チェックサム 検査有り	
 * D C 0 7 0 *	チェックサム 送信無し	■
 * D C 0 7 1 *	チェックサム 送信有り	
 * D C 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
 * D C 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * D D 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D D 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D D 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D D 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % 0 K	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D D 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D D 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マシバ -コード	説明	デフォルト
 * D D 8 E 3 *	<u>ユーザ -メッセージ ①</u> 左のマシバ -コード をマシバ した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をマシバ し、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をマシバ します。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ -メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でマシバ します。	無し
 * D D A E 3 *	<u>ユーザ -メッセージ ②</u> 左のマシバ -コード をマシバ した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をマシバ し、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をマシバ します。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ -メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でマシバ します。	無し
 * D D C E 3 *	<u>コード ID</u> 左のマシバ -コード をマシバ した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をマシバ し、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をマシバ します。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でマシバ します。	N

16 進数バ -コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.10. コード 128

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* D A 0 0 0 *	読み取り無し	
* D A 0 0 1 *	読み取り有り	■
* D A 1 A 0 *	コード 128 標準フォーマット	■
* D A 1 A 1 *	UCC-128 フォーマット	
* D A 1 A 2 *	GS1-128 フォーマット	
* D A 1 8 0 *	チェックビット検査無し	
* D A 1 8 1 *	チェックビット検査有り	■
* D A 0 7 0 *	チェックビット送信無し	■
* D A 0 7 1 *	チェックビット送信有り	
* D A 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
* D A 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マントバ-コード	説明	デフォルト
 * D B 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D B 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * D B 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D B 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマントバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % 0 K	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * D B 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * D B 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D B 8 E 3 *	<u>ユーザメッセージ ①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザメッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D B A E 3 *	<u>ユーザメッセージ ②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザメッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * D B C E 3 *	<u>コード ID</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	K

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * D B E E 3 *	サブコード ID(UCC/GS1-128 読み取り有りの場合に使用されます) 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「サブコード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	K
 * D B 1 E 2 *	AI 切り文字(AI の区切り文字です) 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の 16 進数バーコードで ASCII コードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。設定できる文字数は 1 文字迄です。例えば、@ に設定したい場合は、「設定開始」「AI 切り文字」「4」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	(

16 進数バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.11. コード 93

設定開始  * / \$ % E N T R *	設定キャンセル  * Z E X T *	設定終了  * Z E N D *
---	---	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * E 4 0 0 0 *	読み取り無し	■
 * E 4 0 0 1 *	読み取り有り	
 * E 4 1 8 0 *	チェックビット無し	
 * E 4 1 8 1 *	1 チェックビット	
 * E 4 1 8 2 *	2 チェックビット	■
 * E 4 0 7 0 *	チェックビット送信無し	■
 * E 4 0 7 1 *	チェックビット送信有り	
 * E 4 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
 * E 4 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * E 5 2 E 0 *	最小読取桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最小読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * E 5 3 E 0 *	最大読取桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、14 桁に設定したい場合は、「設定開始」「最大読取桁数」「1」「4」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。読取桁数を制限したくない場合は、最小読取桁数/最大読取桁数共に 0 を設定します。	0
 * E 5 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E 5 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の数値バ-コードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ-コード	
0 % 0 0	1 % 0 1
2 % 0 2	3 % 0 3
4 % 0 4	5 % 0 5
6 % 0 6	7 % 0 7
8 % 0 8	9 % 0 9
確定 % 0 K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * E 5 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E 5 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * E 5 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E 5 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E 5 C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	L

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.12. GS1 Databar Ominidirectional(RSS-14)

設定開始 * / \$ % E N T R *	設定キャンセル * Z E X T *	設定終了 * Z E N D *
---------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
* E E 0 0 0 *	読み取り無し	■
* E E 0 0 1 *	読み取り有り	
* E E 0 4 0 *	アプリケーション ID(01)送信無し	■
* E E 0 4 1 *	アプリケーション ID(01)送信有り	
* E E 0 5 0 *	シンボル ID(]e0)送信無し	■
* E E 0 5 1 *	シンボル ID(]e0)送信有り	
* E E 0 7 0 *	チェックビット送信無し	■
* E E 0 7 1 *	チェックビット送信有り	
* E E 0 6 0 *	先頭 0 削除無し	■
* E E 0 6 1 *	先頭 0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * E F 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E F 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * E F 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * E F 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * E F 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E F A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * E F C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	T

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.13. GS1 Databar Limited(RSS Limited)

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読み取り無し	■
	読み取り有り	
	アプリケーション ID(01)送信無し	■
	アプリケーション ID(01)送信有り	
	シンボル ID(]e0)送信無し	■
	シンボル ID(]e0)送信有り	
	チェックビット送信無し	■
	チェックビット送信有り	
	先頭 0 削除無し	■
	先頭 0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * F 1 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 1 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * F 1 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 1 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マシバ -コード	説明	デフォルト
 * F 1 8 E 3 *	<u>ユーザ -メッセージ ①</u> 左のマシバ -コード をマシバ した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をマシバ し、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をマシバ します。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ -メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でマシバ します。	無し
 * F 1 A E 3 *	<u>ユーザ -メッセージ ②</u> 左のマシバ -コード をマシバ した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をマシバ し、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をマシバ します。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ -メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でマシバ します。	無し
 * F 1 C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマシバ -コード をマシバ した後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をマシバ し、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をマシバ します。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でマシバ します。	U

16 進数バ -コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.14. GS1 Databar Stacked(RSS-14 Stacked)

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読み取り無し	■
	読み取り有り	
	アプリケーション ID(01)送信無し	■
	アプリケーション ID(01)送信有り	
	シンボル ID(]e0)送信無し	■
	シンボル ID(]e0)送信有り	
	チェックビット送信無し	■
	チェックビット送信有り	
	先頭 0 削除無し	■
	先頭 0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * F 3 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 3 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * F 3 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 3 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * F 3 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * F 3 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * F 3 C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	V

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.15. GS1 Databar Expanded(RSS Expanded)

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読み取り無し	■
	読み取り有り	
	アプリケーション ID(01)送信無し	■
	アプリケーション ID(01)送信有り	
	シンボル ID(]e0)送信無し	■
	シンボル ID(]e0)送信有り	
	チェックビット送信無し	■
	チェックビット送信有り	
	先頭 0 削除無し	■
	先頭 0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * F 5 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 5 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * F 5 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置①</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 5 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ挿入位置②</u> 左のコマンドバーコードをスキャンした後、続けて下記の数値バーコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バーコードをスキャンします。 設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージを挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バーコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マシバ -コード	説明	デフォルト
 * F 5 8 E 3 *	<u>ユーザ -メッセージ ①</u> 左のマシバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ -メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * F 5 A E 3 *	<u>ユーザ -メッセージ ②</u> 左のマシバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、@A に設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ -メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * F 5 C E 3 *	<u>コード ID</u> 左のマシバ -コード をスキャンした後、続けて下記の 16 進数バ -コード で ASCII コード をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をスキャンします。設定できる文字数は 2 文字迄です。例えば、AB に設定したい場合は、「設定開始」「コード ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	W

16 進数バ -コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

9.16. GS1 Databar Expanded Stacked(RSS Expanded Stacked)

設定開始 	設定キャンセル 	設定終了
----------	-------------	----------

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	読み取り無し	■
	読み取り有り	
	アプリケーション ID(01)送信無し	■
	アプリケーション ID(01)送信有り	
	シンボル ID(]e0)送信無し	■
	シンボル ID(]e0)送信有り	
	チェックビット送信無し	■
	チェックビット送信有り	
	先頭 0 削除無し	■
	先頭 0 削除有り	

マストバースコード	説明	デフォルト
 * F 7 4 E 0 *	前方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「前方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 7 5 E 0 *	後方削除桁数 左のマストバースコードをスキャンした後、続けて下記の数値バースコードで値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バースコードをスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの後方 2 桁を削除したい場合は、「設定開始」「後方削除桁数」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バースコード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マントバ -コード	説明	デフォルト
 * F 7 6 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ 挿入位置①</u> 左のマントバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの先頭 0 桁目にユーザーメッセージ を挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ 挿入位置①」「0」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0
 * F 7 7 E 0 *	<u>ユーザーメッセージ 挿入位置②</u> 左のマントバ -コード をスキャンした後、続けて下記の数値バ -コード で値をスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ -コード をスキャンします。設定範囲は 0~255 です。例えば、読取データの 5 桁目の後ろにユーザーメッセージ を挿入したい場合は、「設定開始」「ユーザーメッセージ 挿入位置②」「5」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	0

数値バ -コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
確定  % O K	

マストバ-コード	説明	デフォルト
 * F 7 8 E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ①</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ①」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * F 7 A E 3 *	<u>ユーザ-メッセージ ②</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、@Aに設定したい場合は、「設定開始」「ユーザ-メッセージ ②」「4」「0」「4」「1」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	無し
 * F 7 C E 3 *	<u>ポート ID</u> 左のマストバ-コードをスキャンした後、続けて下記の16進数バ-コードでASCIIコードをスキャンし、最後に「確定」「設定終了」バ-コードをスキャンします。設定できる文字数は2文字迄です。例えば、ABに設定したい場合は、「設定開始」「ポート ID」「4」「1」「4」「2」「確定」「設定終了」の順でスキャンします。	X

16 進数バ-コード	
0  % 0 0	1  % 0 1
2  % 0 2	3  % 0 3
4  % 0 4	5  % 0 5
6  % 0 6	7  % 0 7
8  % 0 8	9  % 0 9
A  % 0 A	B  % 0 B
C  % 0 C	D  % 0 D
E  % 0 E	F  % 0 F
確定  % 0 K	

補足 A キーボードコード表 & ASCIIコード表

キーボードコード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	`	p
1	↑	F1	!	1	A	Q	a	q
2	↓	F2	"	2	B	R	b	r
3	←	F3	#	3	C	S	c	s
4	→	F4	\$	4	D	T	d	t
5	Page Up	F5	%	5	E	U	e	u
6	Page Down	F6	&	6	F	V	f	v
7		F7	'	7	G	W	g	w
8	Back Space	F8	(	8	H	X	h	x
9	Tab	F9	)	9	I	Y	i	y
A		F10	*	:	J	Z	j	z
B	Home	Esc	+	;	K	[	k	{
C	End	F11	,	<	L	¥	l	
D	Enter	F12	-	=	M	]	m	}
E	Insert	Ctrl+	.	>	N	^	n	~
F	Delete	Alt+	/	?	O	_	o	

✓ファンクション変換を有りに設定した場合、01~1Fhex に対応する網掛け部分のファンクションが送信されます。但し、この機能は、キーボードインターフェイス(HID)でのみ使用可能です。

ASCIIコード表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

補足 B サンプルコード

コード 39



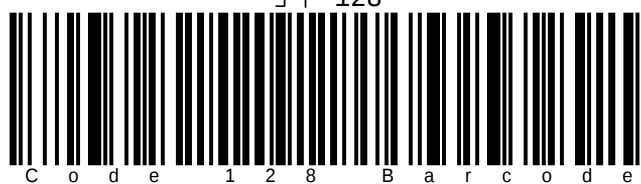
JAN-13



インターリーブド 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



補足 C 設定ユーティリティ

弊社 WEB サイトより専用設定ユーティリティをダウンロードいただけます。
設定ユーティリティと通信する場合は、ISP モードに移行してください。

ISP モードに移行します。上から順にスキャンしてください。

設定開始  * / \$ % E N T R *
ISP モード  * Z I S P *

専用設定ユーティリティ

Barcode Scanner Setting - Untitled

File Sync Communication Help

System
SysStr
OutStd
OutBt
OutBtStr0
OutBtStr1
App
Barcode

Mode	Std Mem Bt	DateFmt	YYYYMMDD
TimeFmt	HHMMSS	BattChgSpeed	Slow
DcPlugStdMode	Enable		
SysBzVol	Level4	SysBzSw	Enable
SysVibratorSw	Disable	SetupVibratorSw	Disable
HeaderStrSw	Enable	HeaderSerNumSw	Enable
HeaderFileDateTime	Enable	HeaderRecCntSw	Enable
FooterStrSw	Enable	FooterSerNumSw	Disable
FooterFileDateTime	Disable	FooterRecCntSw	Disable
LampLvl		DleChar	\$10
CmdTypeChar	\$13	BarTypeChar	\$11
EtxChar	\$03	StxChar	\$02
DateConChar	\$2D	TimeConChar	\$3A
BarWaitAddonCnt	20	BarDbfConfirmCnt	1
BarGoodRdTime	50 (Unit: 10ms)	SetupTime	60 (Unit: 1000ms)

Ready COM14 115200 UnLink

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てポストバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。			
症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に [] 回程度			
インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB			
☐ その他 []			
接続ホスト : メーカー []			
型番 []			
その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印